

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(惠亮院蔵)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187
納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187
惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788
本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823
吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789
定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490
明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069
圓乗院 TEL 086-942-2356
ホームページアドレス <https://yokeiji.or.jp/>

ひとくち法話

天台宗歌

あきらけく のちの仏のみよまでも 光つたえよ のりのともしび

延暦四年(七八五)伝教大師さまは奈良の東大寺で戒律を授かり、国に認められた正式な僧侶となりました。ところが、その後三ヶ月足らずで、修行の地を求めて人里離れた比叡山に入られました。その頃、書かれた『願文』には、その時の決意があらわれています。

「人間に生まれ、仏の教えに出会うことができても、善い心を持ち続けることができなければ、地獄の薪になるより他はない。今の私は十分に正しい修行ができていない愚かで最低の人間である。誰よりも精一杯努力をして、多くの人を救い導くことができる強い自分にならないならならぬ。それまでは、この修行を決してやめることはできないのだ。」と。

延暦七年(七八八)、大師さまは比叡山の上に「乗止観院」というお堂をつくり、自ら刻んだ薬師如来像を安置し、灯明を点じました。この時に詠まれた歌が天台宗歌となりました。

灯明はこの時から大切に受け継がれ、千二百年あまりを経た今日でも、「不滅の法灯」として根本中堂の内陣中央で光り輝いています。

この御歌からは、この「灯火」が長く受け継がれ周りを明るく照らすように「法(仏さまの教え)」が後世まで受け継がれて欲しいという、お大師さまの熱い願いが籠められています。



年末年始の行事についての最新情報は

餘慶寺HP

をご覧ください



ホ
ウ
イ
ン
ジ
は
こ
ち
か
ら
は

餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日 (於 薬師堂)

毎月8日 午前10時～
護摩祈祷をしています。ご祈祷のお申し込みは随時納経所へお願いします。

観音縁日 (於 本堂)

毎月18日 午前8時～
みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお参りください。



餘慶寺

Instagram (インスタグラム)

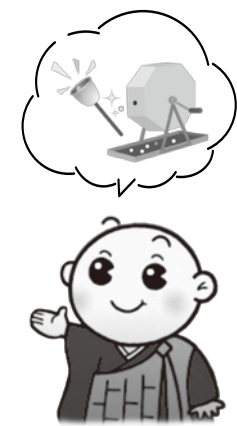
公式アカウント 開設のお知らせ



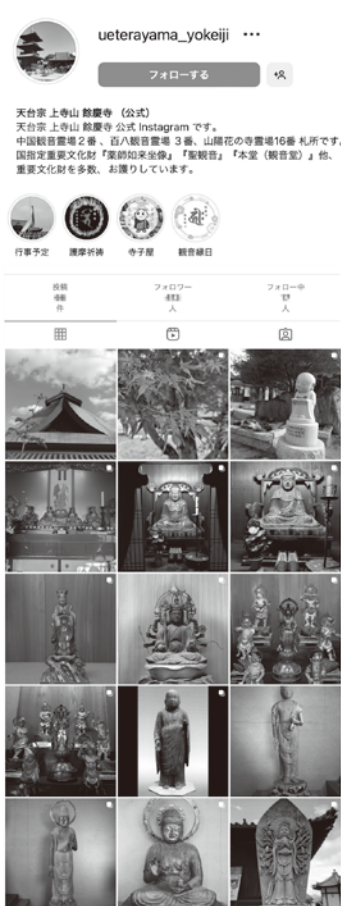
公式アカウント
是非フォロー！
してください！

上寺山餘慶寺ではこの度 Instagramの公式アカウントを開設致しました。

お寺の行事の告知や当日の様子を始め、餘慶寺の様々な情報を日々投稿しております。



是非フォローしてください！
また現在フォローして下さった方には餘慶寺会館窓口にてお楽しみガラポンくじが無料で挑戦できます。



https://www.instagram.com/ueterayama_yokeiji/

毎月第二日曜日午後二時より釈迦堂にて納骨堂説明会を行っています。

寺子屋写真館

よけいじ寺子屋だより 会場：餘慶寺会館(十四時～)



今後の予定

☆「初心者への為の仏教講座①」
十二月十七日(日)
講師 圓乗院住職 西野祐誠 師

☆「写経の功德」 一月十三日(土)
講師 吉祥院住職 大石恵海 師

☆「六地藏と六観音」二月十一日(祝・日)
講師 本乗院住職 小林周伸 師

詳しい日程は
餘慶寺HPを
ご確認ください。

※どなたでも
聴講可能です。
(無料)
お誘い合わせのうえ、
ご参加ください。



編集後記

十二月に入り日ごとに寒さが増し、鍋が食卓の真ん中を占拠している編集の祐聖です。冬の美味しいご飯といえば鍋です。



イノシシのぼたん鍋や鹿肉のみみじ鍋、馬肉のさくら鍋といった鍋の名前の由来には実は仏教が関係しているのを「存じ」でしょうか？

昔々、仏教伝来と共に獣肉食が避けられてきた日本ではイノシシのお肉などを公然と食せなため「薬喰い」と称して健康を口実に食していました。

そこから様々なお肉を花の名前に例えて楽しんでいたら、寒い日が続きますが温かいものを食べてしっかり年末年始元気に過ごしてください。 合掌

古いお札、だるま、お守りをお焚き上げいたします。年末になりましたら本堂へお持ちください

令和6年 厄年一覽表

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24歳 平成13年生	25歳 平成12年生	26歳 平成11年生	18歳 平成19年生	19歳 平成18年生	20歳 平成17年生
41歳 昭和59年生	42歳 昭和58年生	43歳 昭和57年生	32歳 平成5年生	33歳 平成4年生	34歳 平成3年生
60歳 昭和40年生	61歳 昭和39年生	62歳 昭和38年生	36歳 昭和64・平成元年生	37歳 昭和63年生	38歳 昭和62年生
歳は男女とも数え歳です。厄除けのご祈禱をお申し込みください。			60歳 昭和40年生	61歳 昭和39年生	62歳 昭和38年生



第二十四回上寺山両詣りライトアップ

豊原北島神社と餘慶寺が隣接する上寺山では、行く年と来る年に願いを込めて、神と仏にお詣りができ、両方のおかけをいただけることから「両詣り」と名付けていろいろな行事を実施しています。

餘慶寺では古いお札のお焚き上げ、除夜の鐘撞き、八角堂での楊濯頂（お清め）、薬師堂での護摩祈禱などがつとめられます。特に新年が厄年に当たる方や、本命星が厄運の方は、護摩祈禱での厄除けや方位除けをおすすめいたします。

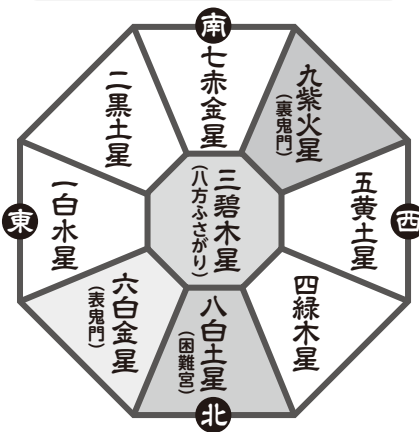
年末年始、上寺山へ是非ともお詣りください。

新年の各種授与品は回廊にて！ 初詣の際はお立ち寄りください。

方位除け

*一年の平穩無事・運氣上昇を祈ります

令和六年 本命星方位図(方位除け)



「方位除け」は人が生まれながらに持っている本命星が、その年にどの方向に位置しているかで一年の吉凶を占うものです。

右の表は「年回り」により、特に注意しなければならない年齢をまとめたものです。新年の「年回り」が良い方には「方位除け」のご祈禱をおすすめします。

中央(八方ふさがり)	北東(表鬼門)	北(困難宮)	南西(裏鬼門)
三碧木星	六白金星	八白土星	九紫火星
昭和9年生	昭和6年生	昭和4年生	昭和3年生
昭和18年生	昭和15年生	昭和13年生	昭和12年生
昭和27年生	昭和24年生	昭和22年生	昭和21年生
昭和36年生	昭和33年生	昭和31年生	昭和30年生
昭和45年生	昭和42年生	昭和40年生	昭和39年生
昭和54年生	昭和51年生	昭和49年生	昭和48年生
昭和63年生	昭和60年生	昭和58年生	昭和57年生
平成9年生	平成6年生	平成4年生	平成3年生
平成18年生	平成15年生	平成13年生	平成12年生
平成27年生	平成24年生	平成22年生	平成21年生
令和6年生	令和3年生	平成31・令和元年生	平成30年生

令和六年方位除け一覽表

寺宝展のご報告

秋のほどよい暖かさに包まれた十月九日、今年で第二十一回の餘慶寺寺宝展が開催されました。

薬師如来坐像をはじめとする多くの寺宝が公開されご加護にあずかろうと多くの参拝客が訪れました。

今年はフリーアナウンサーの岡崎夢さんを講師に迎え、「私のお仕事」と題して、フリーアナウンサーの秘話など貴重なお話を聞くことができました。



餘慶寺境内紹介

ある雪の日〜昭和三十八年頃〜

近頃は地球温暖化が進んできたのか、雪が降るとも少なくなってきました。

この写真は雪の日に餘慶寺の諸堂を撮ったもので、昭和三十八年頃と思われます。温暖な岡山県南部といえども、今よりは寒く、雪が降ることも珍しくはなかったと思いますが、白くなったお堂の屋根がきれいで、写真に残しておいたのでしょうか。

よく見ると、手前から二番目の建物が現在とは異なります。以前は十王堂というお堂があり、その名の通り十王が祀られていました。建物が老朽化し取り去られた跡地に、平成元年新たに地藏堂が立てられ、今では回向法要等が執り行われています。

また、境内の桜はまだ小さく、逆に大きな松の木がそびえており、道の舗装もされていません。ずいぶん様子が違いますね。

昔の写真を見ると、時の流れを感じます。良いものは守り、受け継いで次へ伝えていく、その大切さを教えてくれる一枚です。



また岡山戦国プロジェクト様による甲冑着付け体験も行われ、戦国武将さながらのいでたちで餘慶寺の境内を散策できるイベントも開催されました。

末筆になりますが、開催にご尽力いただきました方々に改めて御礼申し上げます。